

関連項目：検証改善プラン①

# 「さわやかカード」により児童が自己評価し行動の改善にいかす

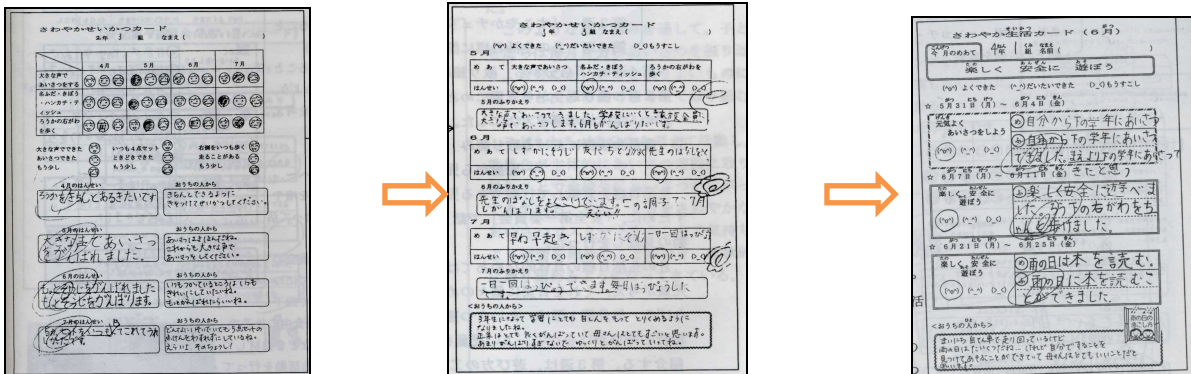
## 目的

本校の児童は、基本的な生活習慣が十分身につけていない面がありました。そこで、自らの生活行動を振り返り、正しく判断し行動することのできる態度や自己指導能力の育成をめざして、「さわやかカード」により、児童が「自分から」自分の生活行動を振り返ることができるようにしました。

## 内容

### ● さわやかカードの変容

さわやかカードは、平成20年度に作成され、年々少しずつ変えていきました。



【20年度のさわやかカード】

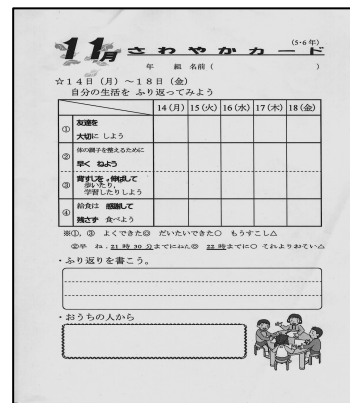
【21年度のさわやかカード】

【22年度のさわやかカード】

20年度は、「さわやか生活カード」と名付け、3つの観点に絞って児童が「自分から」振り返りを行いました。3つの観点は、「大きな声であいさつをする」「名札・黄帽・ハンカチ・ちり紙」「廊下の右側を歩く」でした。21年度は、6つの観点から3つを選択し、自己評価を行いました。22年度は「あいさつ」と「廊下歩行」を重点課題として取り組みました。また、「さわやか生活カード」とは別に、生活リズムを自己評価する「すこやかチェック」というカードもあり活用してきました。

### ● さわやかカードの活用

本年度は、4年目をむかえ、カードの精選に取り組みました。毎月の生活目標に関連した内容の観点、保健目標に関連した観点、食育に関連した観点の3つに絞り、「さわやか生活カード」と「すこやかチェック」を1つにした「さわやかカード」として児童自らが自己評価していきました。自己評価したものをもとに、代表委員会や委員会・クラスで話し合っ、できていない課題について全校生で取り組めるようにしました。また、懇談会などで保護者と共通の話題で話をするこ、あいさつや食事、起床時刻や就寝時刻などについて協力を呼びかけ、少しずつ学校生活をよりよくしていくとしています。



【本年度のさわやかカード】

### ● 家庭との連携

さわやかカードは、毎月持って帰り、家庭でも学校生活や家庭生活を振り返る機会にしている保護者からの励ましの言葉が増えてきました。

## 成果

こうした取り組みをすることで、進んであいさつをする児童や早寝早起きを心がけたりする児童が増えてきました。これは、毎年少しずつカードの内容を変えて、重点化を図ったり、児童が簡単に自己評価できるような観点到したりしたことで自分自身の課題が明確になったことが理由だと考えられます。